

熊本市では、近見地区において「宅地液状化防止事業」を進めています。事業について広く市民の皆さまに知っていただくため、熊本市宅地液状化防止事業情報誌として「ちかみらい通信」を進捗にあわせて発行し、情報の共有に努めています。
ちかみらい通信は、熊本市のホームページやLINEでも公開しています。パソコンやスマートフォンで是非ご覧ください！

二次元コード
からHPをご覧ください



1.地下水位低下工法の対策効果について、改めてご紹介します！

【地震発生】

①ゆるい砂地盤 ②高い地下水位 ③強い地震
3つの条件が揃うと
液状化発生
被害例
・住宅の傾斜 ・道路の破損
液状化被害は個々の住宅だけではなく隣接する道路(公共施設)にも影響を及ぼします

地下水位低下工法を実施すると

【液状化対策後】

対策効果
遮水壁で地下水位低下工法対策区域を囲み地下水位を下げることで
宅地と道路(公共施設)を一体的に対策します。
宅地と道路(公共施設)の液状化被害リスクを下げるができます
公共施設…道路、公園、上下水道、水路等

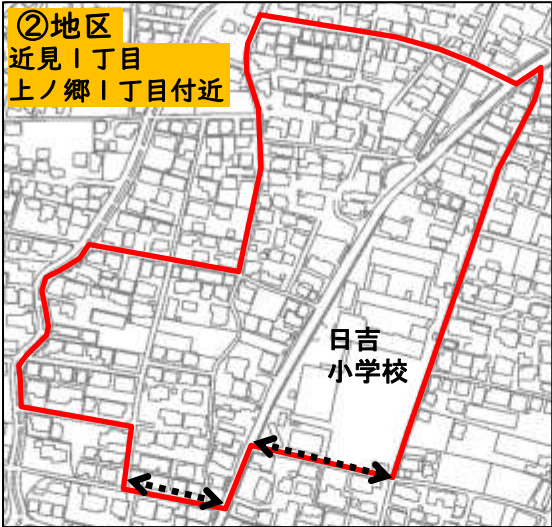
裏面にもお知らせがあります！

2.地下水位低下工法による交通規制(予定)について(令和3年1月)

現在、①、②、⑥、⑦の4つの地区で工事を実施しているため、多くの交通規制が行われています。
今後の交通渋滞緩和のために、事前に令和3年1月の交通規制の予定についてお知らせします。
周辺にお住まいの方には、詳しい交通規制の工事用チラシを適宜、施工業者より配布します。



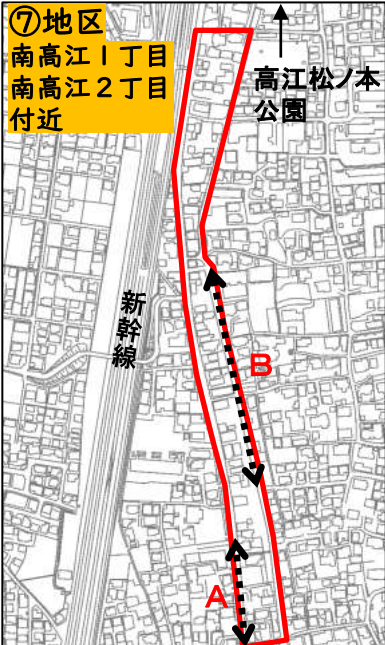
①地区における交通規制



②地区における交通規制



⑥地区における交通規制



⑦地区における交通規制

【交通規制について(破線両矢印の箇所)】

<①地区>

片側交互通行(昼間)

遮水鋼矢板設置

<②地区>

車両通行止め(24時間)

遮水鋼矢板設置

<⑥地区>

A片側交互通行(昼間)

集水管設置

車両通行止め(24時間)

B1集水井戸

B2集水管設置

<⑦地区>

A片側交互通行(昼間)

遮水鋼矢板設置

B車両通行止め(24時間)

遮水鋼矢板設置

【年末年始の工事休止期間について】

①,②,⑥ A …R2.12.28(月)22:00~R3.1.4(月)9:00

⑥B1B2,⑦…R2.12.28(月)22:00~R3.1.5(月)9:00

※天候等の諸事情によって、施工箇所や施工時期が変わることがあります。 ※一部夜間工事を実施する場合があります。

今年は工事や調査等で、皆さまには大変お世話になりました。
来年も引き続きご理解、ご協力を頂きますようよろしくお願いいたします。